

令和6年7月16日

松平地域会議
会長 青木 正道 様

豊田市長 太田 稔彦

検討結果報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第2項の規定に基づき諮問し、答申を受けたことについて、下記のとおり報告します。

記

- 1 報告事項 令和5年12月13日に松平地域会議から受けた『（仮称）ミライ構想』のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造に関する答申についての検討結果は別紙のとおり
- 2 主管課名 企画政策部 企画課、都市計画課

松平地域会議からの答申に対する検討結果

1	答申内容	<p>【(仮称) ミライ構想】</p> <p>全体を通して記載されている内容は、都市部にフォーカスしたように感じられる。都市部以外に暮らす人々にも、ミライ構想が実現することで、快適に暮らせるまちとして、実感できる構想にしていきたい</p>
	市の考え	<p>「(仮称) ミライ構想」は、様々な地域性を有する豊田市全体の普遍的なめざす姿やまちづくりを示していくことを考えています。</p> <p>なお、今後5年間で特に注力する取組の方向性をとりまとめる「(仮称) ミライ実現戦略2030」において、注力する視点として、①「こども」起点でまちづくりを考える。②誰もが「つながり合う」まちづくりを進める。③人を支える「まちの基盤」をつくる。を掲げ、若い世代を含むこどもたちが多様な場で、多様な人と世代とつながり多様な経験ができるまちづくりや人生100年時代に豊かな経験・活力を次世代につなぎ、高齢者を始め、大人たちがいきいき暮らす姿を伝えることで、まちへの愛着を育むとともに、こどもたちのミライに夢と希望をつくることを目指すことを重視したいと考えており、こうした取組を通じて、快適に暮らすことができるまちづくりにつなげたいと考えています。</p>
2	答申内容	<p>【(仮称) ミライ構想】</p> <p>こどもから高齢者、どの世代でも理解できるよう、わかりやすいめざす姿の設定をお願いしたい</p>
	市の考え	<p>表現については、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。</p> <p>計画自体についても、市民の皆様にとって分かりやすい計画とするとともに、手に取りやすい図書となるよう工夫していくほか、動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有していく考えです。</p>
3	答申内容	<p>【(仮称) ミライ構想】</p> <p>各地域が策定したまちづくり構想や計画は、その地域の課題や特徴を踏まえた、地域独自のものである。それらを活かせるような施策の推進を図っていただくとともに、地域の取組を行政が支援する仕組みや体制を整えていただきたい</p>

	市の考え	<p>「(仮称) ミライ構想」において、「行政が担うべきことはしっかりと役割を果たしつつ、市民や民間事業者などの多様な主体が主役となってまちづくりに参画し、楽しみながら活躍できる環境づくりを行い、「共働によるまちづくり」を更に進めることを意識します」と掲げていく考えです。</p> <p>また、「(仮称) ミライ実現戦略2030」において、本市が持つ誇るべき多様な地域性や価値、豊かな担い手を生かすことを取組方針の考え方として掲げる考えであり、地域活動の持続可能性の向上として具体的な取組を検討していきます。</p>
4	答申内容	<p>【(仮称) ミライ構想】</p> <p>今以上に各地域の魅力を活かしたまちづくりをすることで、若者が次世代のまちづくりを担っていこう、という意識が芽生えるようなミライ構想としていただきたい</p>
	市の考え	<p>「(仮称) ミライ構想」において、「先人のたゆまぬ努力により培われてきた豊かな自然や歴史・文化、ものづくり産業・技術など多様な資源」を次代を担うこどもたちへつなぎ、「豊かな豊田市のミライをつくりだしていく」ことを掲げていく考えです。</p> <p>加えて、「(仮称) ミライ実現戦略2030」において、「こども」起点でまちづくりを考える。を注力する視点として掲げており、若い世代を含むこどもたちが多様な場で、多様な人と世代とつながり多様な経験ができるまちづくりを進め、まちへの愛着を育むとともに、こどもたちのミライに夢と希望をつくることを目指すことを重視したいと考えており、具体的な取組を検討していきます。</p>
5	答申内容	<p>【(仮称) ミライ構想】</p> <p>時代の変化に対応するためには、市民の声に傾聴し、地域の実情を踏まえた、柔軟な対応が可能となるような計画としていただきたい</p>

	市の考え	<p>総合計画の策定に当たり、地域会議での諮問答申のほか、こども会議や学生・外国人の方との意見交換、子育て世代を中心としたまちづくりミーティングや中間報告会等を開催し、市民の皆様から広くご意見を頂いておりますが、策定後においても様々な方との意見を踏まえ、施策の見直し等を行っていく考えです。</p> <p>また、第9次豊田市総合計画では、これまでの計画が取組の固定化につながりやすいという反省を踏まえ、社会環境の変化に対応して、注力が必要な取組を柔軟に展開することを重視しており、常に取組を見直していく計画としていく考えです</p>
6	答申内容	<p>【(仮称) ミライ実現戦略2030について】</p> <p>■学び合い × こども × 愛着・誇り</p> <p>・こどもが地域の歴史や文化、伝統に触れ合う機会の創出を積極的に行うことで、地域愛の醸成や次世代の担い手の育成に繋がるような取組を実施してほしい</p>
	市の考え	<p>本市は多様な地域や歴史文化、芸術、自然等の資源を有しており、市民一人ひとりが愛着や誇りをもって、これらの魅力を次代を担うこどもたちにつないでいくことが大切であると考えています。</p> <p>なお、「(仮称) ミライ実現戦略2030」において、まちの歴史・文化・芸術や自然をミライにつなぐ取組の推進や身近な地域の魅力を知り、生かす機会の充実などの施策を検討しており、地域愛の醸成や次世代の担い手の育成につなげていく考えです。</p>
7	答申内容	<p>【(仮称) ミライ実現戦略2030について】</p> <p>■地域共生</p> <p>・人生100年時代と言われる今、高齢者がさらに生きがいややりがいをもてるような活躍の場をつくっていただきたい</p>
	市の考え	<p>「(仮称) ミライ実現戦略2030」において、人生100年時代に豊かな経験・活力を次世代につなぎ、高齢者を始め、大人たちがいきいき暮らす姿を伝えることで、まちへの愛着を育むとともに、こどもたちのミライに夢と希望をつくることを目指すことを重視したいと考えており、これによりさらに生きがいややりがいを持てるような活躍の場づくりにつなげたいと考えています。</p>

8	答申内容	<p>【(仮称) ミライ実現戦略2030について】</p> <p>■地域共生</p> <p>・地域には、地域課題の解決に向けて尽力している組織や団体がある。市にはそのような団体同士が連携し、活動が活性化されるよう、組織や団体を“つなぐ”役割を期待する</p>
	市の考え	<p>「(仮称) ミライ構想」において、「行政が担うべきことはしっかりと役割を果たしつつ、市民や民間事業者などの多様な主体が主役となってまちづくりに参画し、楽しみながら活躍できる環境づくりを行い、「共働によるまちづくり」を更に進めることを意識します」と掲げていく考えです。</p> <p>また、「(仮称) ミライ実現戦略2030」において、本市が持つ誇るべき多様な地域性や価値、豊かな担い手を生かすことを取組方針の考え方として掲げる考えであり、地域活動の持続可能性の向上として具体的な取組を検討していきます。</p>
9	答申内容	<p>【(仮称) ミライ実現戦略2030について】</p> <p>■都市基盤</p> <p>・山村地域等では交通ネットワークの強化は大きな課題であり、快適に暮らすための交通手段の実現を期待する</p>
	市の考え	<p>基幹交通をネットワークとして維持する一方で、地域内の移動は「生活交通」として都市部・郊外部・山村部の地域特性に応じた持続可能な移動サービスの実現を目指していきます。</p> <p>生活交通においては、地域の実態に合わせて「自助・共助・公助」による多様な移動手段を組み合わせしていきます。</p>
10	答申内容	<p>【(仮称) ミライ実現戦略2030について】</p> <p>■都市基盤</p> <p>・都市部と山村地域等を結ぶ幹線道路の整備だけではなく、山村地域等の間を結ぶ道路整備もしっかりと行い、平常時だけでなく、災害時にも連携が密にとれるようにしていただきたい</p>
	市の考え	<p>道路交通について、拠点間の交流促進だけでなく、災害時における広域な連携も踏まえたネットワーク強化に向けた検討を進めていきます。</p>

1 1	答申内容	<p>【(仮称) ミライ実現戦略2030について】</p> <p>■こども</p> <p>・こどもが将来に夢や希望を抱けるような取組を、地域や地元企業、教育機関などが連携して実施してほしい</p>
	市の考え	<p>「(仮称) ミライ実現戦略2030」において注力する視点として、こどもたちが、ミライを生き抜く力を育むため、多様な場で、多様な人・世代とつながり、多様な経験ができるまちづくりを進めることや、人生100年時代に豊かな経験・活力を次世代につなぎ、高齢者を始め、大人たちがいきいき暮らす姿を伝えることで、まちへの愛着を育むとともに、こどもたちにミライに夢と希望をつくることを目指すことを重視したいと考えています。</p> <p>また、「共働によるまちづくり」を更に進め、地域や企業、教育機関といった様々な主体が参画する取組につなげていきます。</p>
1 2	答申内容	<p>【(仮称) ミライ実現戦略2030について】</p> <p>■愛着・誇り (歴史の継承)</p> <p>・今まで繋いできた歴史や文化、伝統といったものを積極的に継承していくことを計画策定の際に織り込んでいただきたい</p>
	市の考え	<p>本市は多様な地域や歴史文化、芸術、自然等の資源を有しており、市民一人ひとりが愛着や誇りをもって、これらの魅力を次代を担うこどもたちにつないでいくことが大切であると考えています。</p> <p>なお、「(仮称) ミライ実現戦略2030」において、まちの歴史・文化・芸術や自然をミライにつなぐ取組の推進や身近な地域の魅力を知り、生かす機会の充実などの施策を検討しており、地域愛の醸成や次世代の担い手の育成につなげていく考えです。</p>
1 3	答申内容	<p>【都市構造について】</p> <p>・拠点間の連携は、今まで各地域でできていたことが引き続きできるようにするだけではなく、各地域の特色を活かせる連携としていただきたい</p>

	市の考え	<p>ご意見の「各地域の特色を生かした連携」は重要な視点であると考えます。</p> <p>拠点間の連携については、各地域の機能の維持・向上を図るとともに、それぞれの地域がより緊密につながり合うことで、新たな価値や可能性を生み出すまちづくりを進めていきます。</p>
14	答申内容	<p>【都市構造について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通ルートの再検討や地域ごとにあるタクシーやバスといった移動手段の連携及びサービス向上により、移動距離ではなく移動時間の短縮ができるような都市構造としていただきたい ・都市部と比較して山村地域等では、高齢者の移動手段が一層大きな課題である。高齢者が安心して運転免許証を返納できるような利便性のある公共交通を実現してほしい
	市の考え	<p>基幹交通をネットワークとして維持する一方で、地域内の移動は「生活交通」として都市部・郊外部・山村部の地域特性に応じた持続可能な移動サービスの実現を目指していきます。</p> <p>生活交通については、地域の実態に合わせて「自助・共助・公助」による多様な移動手段を組み合わせながら、必要な移動手段を確保していきます。</p>
15	答申内容	<p>【都市構造について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山村地域等に関わりのある【くらし機能の連携】に示す内容は、くらしの現状維持を目指すに止まり、居住誘導を行う【(仮)えきちか居住誘導エリア】のような魅力を感じることができない。山村地域等に住む者や若者が自分たちの住む地に定住し、夢を抱くことができるような都市構造を目指してほしい
	市の考え	<p>都市部だけでなく山村地域等においても、市民の暮らしの質の維持・向上を図るとともに各地域の特色を生かしたまちづくりを進め、それぞれの拠点が連携することで市域全体の活力や新しい価値を創出していきたいと考えています。</p> <p>山村地域の拠点となる「生活拠点」を中心に定住促進に取り組むほか、様々な主体との共働による交流促進を図ることで、魅力ある地域を実現していきます。</p>

16	答申内容	<p>【都市構造について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化の激しい時代だからこそ、各種制度を見直し、変えていく必要がある。特に山村地域等では、そこでの暮らしを維持するために、宅地整備に関する規制の緩和が必要である
	市の考え	<p>「(仮称) ミライ実現戦略2030」の施策検討の中で各制度の見直しについても検討します。</p> <p>宅地整備に関しては、地域の暮らしの維持に必要な取組について、現状の課題を踏まえながら検討していきます。</p>
17	答申内容	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料全般を通して、わかりやすい文書表現としてほしい。住民に意見を求めるにあたっては、住民は行政文書に慣れていないことに留意し、諮問内容をわかりやすい表現・内容としてほしい。また、作成する総合計画書においても同様の配慮をお願いしたい
	市の考え	<p>表現については、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。第9次豊田市総合計画は、分かりやすく親しみやすいものとなるよう、図書以外にも動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有していく考えです。</p>